

【概要版】小牧市こども計画 令和7年度評価

基本目標 1 こども・若者の権利を保障します

施 策	実施状況
1 こども・若者の権利を守る環境づくり	3.2

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・「自分が守られる権利がある」だけではなく、相手の権利に対しても「権利擁護の主体として関わる権利がある」ことをお互いに知ることが、こどもたちの将来につながる。
・こどもたちに、こどもが意見表明できる場があることをもっと周知していくべきである。

基本目標 2 地域の子育て・子育てを支援します

施 策	実施状況
1 こどもの夢・チャレンジの応援	3.3
2 地域での交流の場の充実	3.1
3 こども・若者の居場所づくり	3.3

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・「自然環境学習」について、探究学習の充実ということで、こどもたちにとっては生きた学習となって大変良いものであり、今後もこのような事業が広がっていくとよいと感じている。

基本目標 3 子育て家庭を支援します

施 策	実施状況
1 子育てと仕事の両立支援の充実	3.0
2 相談と情報提供の充実	3.1
3 経済的支援策の充実	2.9

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・スクールソーシャルワーカーは、不登校児童・生徒の家庭訪問や、外国人家庭の援助要請支援等を行っており、とても重要な役割を担っている。今後さらに拡充して配置されたらよいと思う。

基本目標 4 幼児教育・保育サービスを充実します

施 策	実施状況
1 安全・安心な保育環境の整備	3.0
2 多様な幼児教育・保育ニーズに応える支援の推進	2.9

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・4月から始まった「こども誰でも通園支援制度」について、まだ認知度が低いと感じる。さらなる周知が必要である。
・「小中学校との連携の推進」について、小学校の教員や保護者が保育園を訪問し、実際に保育の場を見学し、こどもたちの様子を直接観察して貴重な学びを得ることができた。連携の取組みがさらに広がることを期待する。

※実施状況…4:見込以上／例年以上 3:見込並／例年並 2:見込未満／例年未満 1:計画不実施／縮小
※実施状況欄の数値は、該当施策における各取り組みの評価値の平均です。(評価対象外の取組みを除く)

基本目標 5 親子が心身健やかに育み合うことを支援します

施 策	実施状況
1 妊娠・出産期の支援の充実	3.2
2 産後の支援の充実	3.1

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・他市町村に先駆けて5歳児健診を行っていることは評価ができると思う。
・幼稚園で「命のはじまり」をテーマに園児にデリケートゾーンについて話をする機会を作った。保護者からは「親からの説明では入っていかないので、園から説明してもらえてよかった」との声が挙がっている。

基本目標 6 若い世代を支援します

施 策	実施状況
1 就労支援、雇用と経済的基盤安定への支援	4.0
2 結婚を希望する人への支援	3.0
3 こども・若者の心身の健やかな成長の支援	2.9

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・「いじめ・不登校対策事業」について、不登校が不登校でない他の道の進め方も含め、こどもに寄り添った対応を引き続き期待する。
・SNS 対策や不登校状態となったその後のアフターケアが重要である。

基本目標 7 配慮を必要とするこども・若者・家庭を支援します

施 策	実施状況
1 ひとり親家庭の自立支援の推進	3.1
2 児童虐待防止対策の充実	3.0
3 障がい児、医療的ケア児施策の充実	3.3
4 こどもの貧困対策の充実	3.3
5 外国人など配慮が必要な家庭への支援の充実	3.2

【子ども・子育て会議での主なご意見】
・外国籍の方が持つ独自のネットワークを活かし、園や未来館等の日常の遊びの場へ参加できるよう積極的な情報発信や声かけを行うことが、悩み相談や必要な支援へとつなぐきっかけになる。
・災害時の医療的ケア児等の命を守るため、防災部門等と連携し、事前の調整や準備が必要である。

教育・保育の量の見込みと提供体制の確保 地域・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

一部の事業において、需要に対する人材確保などの課題が生じていますが、すべての事業において確保の内容が、実績を上回るもしくは同数であるため、必要な事業体制を維持できています。